

篠崎からも陳述を求める陳情出る

283号線の再調査を！（本西委員） 住民の声聞くチャンス！（須田委員）

11月9日（月）午後1時30分から建設委員会が開かれ、新たに付託された篠崎地域からの2本（24号陳情Ⅱ篠崎地域のスーパー堤防建設・まちづくり計画の撤回を求め意見陳述を求める陳情）（27号陳情Ⅱ墓地移転の中止を求め意見陳述を求める陳情）ほかの陳情文が事務局より朗読され、その後、陳情審査に入りました。概要を伝えます。

渡部正明委員長（自民） では第3号「283号線拡幅に反対、意見陳述を求める陳情」から。

本西光枝委員（生活者ネット） 283号線はルートの再検証はするが、変えないということか。

土木部 ルートは京成線（ガード）の立体化の際、道路幅との整合性を考えた。簡単には変えられない。

本西委員 道路はやはり通すのか。

土木部 将来的に必要なを検証している。

本西委員 岩槻通りと283号線の分岐点辺りは、合流点もない。資料の交通量は違うのではないか。

土木部 交通量調査の結果だが、右折や左折による合流点はある。

本西委員 わずかな距離で1000台以上も増加するのはおかしい。数字のブレがある。再調査すべき。

須田哲二委員（共産） 第3号は、昔の計画に従って行うのはおかしい、の陳情だ。例えば28号線（上篠崎1丁目）は車は少ないが、拡幅すれば交通量が増大する可能性がある。地元住民の声を勘案、その後で事業化すべきかを検討する。現実と将来予測が大切で見直しを図る必要がある。

高木秀隆委員（自民） 計画道路の目的のひとつに危険箇所の回避もある。

土木部 283号線では通過するダンプも入ってくる。それらが生活道路に入らないように考える。

高木委員 拡幅には反対、賛成の声がある。しっかりと検討されたい。

渡部委員長 本日は継続。続いて第4号。

本西委員 第4号はスーパー堤防よりも内水氾濫対策を優先せよ、が趣旨だが、NHKニュースで渡良瀬遊水地で水があふれ、ポンプ場が水に浸かった、と報じた。区内のポンプ場耐水化は進んでいるか。

土木部 平成28年度までに都下水道局で整備する、と聞いている。

本西委員 6つのポンプ場の進捗率は。

土木部 進捗率は次回までに資料を出す。

須田委員 4号の趣旨に大賛成だ。2年続けて区内の内水氾濫がニュースになった。内水対策では必要な手だてがない、と感じた。今後、国の予算を見てもスーパー堤防のような巨費を投じる計画は不可能になっている。内水対策を検証する必要がある。陳情には賛成する。

渡部委員長 継続とする。第8、9号は篠崎地域のまちづくり関連なので一括したい。

本西委員 18班地区では、まちづくり懇談会はなかったが、何故、篠崎地区では設けたか。

土木部 懇談会を円滑にするためにまちづくり準備会を設けた。地区内の地権者8人の委員と学識経験者で構成する。

本西委員 事業決定もしていない。反対の人もいる。それなのに準備会を設けるのはおかしい。

須田委員 かつて平井7丁目で準備会があった。それと同じか。

土木部 行政の思いが伝わりやすくするため、小規模の集会から立ち上げた。

須田委員 平井7丁目とどう違うのか。異論を排する目的ではないか。平井と同じだ。

土木部 少人数、任意の勉強会に似た組織だ。

須田委員 意見陳述を求める陳情がいくつも出ている。住民の声を聞くチャンスだ。

高木委員 会派の意見をまとめたい。ここでする。他の委員会でも同様の声が出よう。統一の見解が必要だ。

堀江創一委員（公明） 会派に持ち帰る。

須田委員 前例もあるので認識されたい。

高木委員 議会全体の問題だ。

渡部委員長 次回に諮りたい。本日は継続。